

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年08月31日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104746
法人名	医療法人 愛人会
事業所名	シルバープラザ グループホーム愛
所在地	鹿児島市谷山中央1丁目4088-14 (電話) 099-263-6470
自己評価作成日	平成29年6月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年7月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

谷山の町が変わろうとしています。今谷山駅前には区画調整区域となり、我がグループホームの周辺もがらりとリニューアルされつつあります。年末から年明けに向け私達グループホームも新居にお引越しです。駅周辺に公園や散歩道ができお買い物も、ホーム近くに便利に建築されると聞きました。入居者の皆様と毎日毎日楽しみに思いながら引っ越しを待ちわびているところです。新しい住居でこのメンバーの方たちと一緒に、新しい目標を掲げ、目標に向かって楽しく過ごして行きたいとワクワクしています。現在、月1回の園外活動を楽しみに、ホームでの生活を充実したものにと頑張っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

## &lt;地域交流と外出支援&gt;

- ・町内会の規約により自治会には加入していないが、町内会長や町内会のメンバーとは運営推進会議等で顔を合わせており、地域行事等でも積極的に交流している。
- ・また、いきいきポイント推進事業の推奨や、高校生のボランティア受け入れ、小学6年生によるサマーボランティアの受け入れなど学生とふれあう機会も多い。
- ・外出については、年間行事計画にて毎月1回は利用者全員で出かける機会を設けるほか、利用者に行きたいところを尋ねるなど、個々の希望する外出先にも極力出かけられるよう対応している。

## &lt;思いの把握と人権の尊重&gt;

- ・契約時に、利用者の思いや望む暮らしを聞き取り、アセスメントシートに落とし込み、入居後も日々の言動や職員の気付きから、利用者のより深い気持ちを汲み取るよう努め、職員間で情報を共有することで、統一したケアに反映させている。
- ・また、把握した個々の思いを接遇につなげられるよう、繰り返し内部研修を実施し、職員による不適切な言動が確認された場合には、その都度声を掛け合い確認し合うことで再発防止につなげ、今後のケアへの反映につなげられるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所内に理念を掲げ、職員一同、念頭に、業務に活かした支援を行っている。	運営理念と理念を具体化させた目標を玄関と事務所に掲げるとともに、理念が現状に即したものとなっているか振り返る機会を設け、日々のケアの実現に向け取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	谷山駅も今年3月に完成式が行われ、新しくスタートしています。私たちのホームでの生活も新しく変化していくものと考えています。	町内会長をはじめ町内会のメンバーとの交流のほか、いきいきポイント推進事業の推奨、地域包括支援センターからのボランティアの受け入れ、小学校のサマーボランティアの受け入れなど積極的に地域交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の開催、研修・実習の学生さんを受け入れる事で地域と共に利用者様を支援していると思います。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議に御出席頂くご家族に往復はがきでお知らせをさせて頂いています。参加・不参加のお返事も頂けて、会議の準備もスムーズに行えています。	会議には家族や地域代表、包括支援センターの職員らが参加しており、特に家族は毎回5名以上の参加が得られ、活発な意見交換がなされており、会議終了後も話が尽きないなど情報交換や情報の共有が密に図れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	支所の介護保険課、市民課、谷山交番所、長寿支援センターと交流を図り情報交換を行い交流を図っている。	運営推進会議で包括支援センター職員と意見交換を行い、介護認定申請時は市役所に出向くなど、行政職員とはこまめに顔を合わせている。また、熱中症対策や認知症の勉強会等、行政からの研修案内も多く、可能な限り参加するよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会を設置し、委員会が取りまとめたことを、職員会議・ユニット会議で報告し、職員の周知と見直しを行っている。	安全管理委員会を中心に毎月身体拘束をしないケアのあり方について話し合うほか、母体医療機関の看護師やリハビリ担当者を講師に招いて内部研修や助言等活発な意見交換がなされている。また、言葉による拘束についても気付いた時にその場で注意し確認し合うことで再発防止につなげている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内外での一切の拘束・虐待を禁止し、職員全体会議、ユニット会議でもマニュアルを配布し高齢者虐待防止法に関する理解を周知させている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	これまでに2人の方が後見人を付けておられた。後見人の方との話し合いの時間を持ち御利用者様の意思を伝えたり、ご家族との連携を持ち後見人に伝えるなど良い関係が作れていたと思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時本人、ご家族に契約時の説明を行い、ご理解を頂いている。納得のいく説明が出来る様に分かり易くゆっくり行っている。契約後も改定時、疑問点には分かって頂くまで説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様の意見はもちろん、ご家族様からの意見も随時受付、面会時やTEL等で近況報告を行った時にも要望や意見を聞き取りお答えできるようにしている。</p>	<p>日々接する中で、利用者の好むことや嫌がることを把握するとともに家族来所時には管理者が必ず体調等近況を報告するようにしている。また、相談や苦情については職員間できちんと話し合い、丁寧に記録に残すことで再発の防止や今後の運営に反映につなげている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝夕の申し送りや職員全体会議・グループホーム ユニット会議等で報告し意見交換を行っている。</p>	<p>日頃から職員間のコミュニケーションはとれており、管理者にはいつでも意見を言える環境ができています。法人内での異動や研修への参加、休日の希望等についても利用者には負担にならないよう調整するなど、努めて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>介護職員一人一人が意識を持ち資格取得に向け意識を持ち、毎年数名が資格保持者になり後輩の指導にあたっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎日の業務の中で、不安、疑問点があれば 管理者・ケアマネ・介護主任が相談を受け 介護者の意見を重視し、指導を行い話し合い、改善を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所との連携を図る意味からも外部研修を取り入れ、ネットワーク作りを行い情報の交換を行っている。自社の見学に来てもらったり、訪問させてもらい意見交換している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所以来があった時本人、家族より聞き取りを行い入所に至った理由や希望、生活をどのように過ごして行きたいかを聞き取り、本人が望まれる生活環境作りに役立っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所時は入所当初の状況報告を行い、家族が困っていることを把握し、毎月の様子を写真を貼付したお便りでお知らせしている。又、特変時は御家族に連絡し情報の共有を図っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所時に家族が望まれる生活の聞き取りを行い、不穏時の家族との情報を共有し対応している。本人の望む生活を寄り添い聞き入れながら支援している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の思いを知り、今まで生活されてきた過程を考慮しながら、本人が個性を発揮し、その方らしい生活が送れているかの確認をしながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月1回発行される広報誌に担当者から「今月の〇〇様」に情報報告を写真入りで億っている。その文章からくみ取れる悩みや、意見が発生した場合は速やかに対応する努力をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族、友人、知人の面会は家族の拒否が無い方には、日にちや、時間の制限なく、いつでも面会で、外泊・外出もして頂いている。	これまでの人間関係や好む場所を把握し、交流関係が途切れないよう職員と家族が協力し合い対応している。帰宅の希望については、実際に自宅に出かけ、庭の植物を眺めたり近所の方と会話をすることで、気持ちの安定につなげている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で楽しく、思いやりを持って触れ合える様、レクリエーションや園外活動等で仲良く親しめる場を提供している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院・退所・他施設への入所者、ご家族にも連絡を取り、面会に伺い、見慣れた環境を絶やさぬように努めている。ご家族からの悩みや、困りごと聞き取り対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用開始前に、本人や御家族にどのように生活されたいかを聞き取り介護計画に取り入れ対応している。変化があった時は希望に沿えるように対応している。	契約時に本人の望む暮らしを確認し、アセスメントシートに落としケアプランに反映させている。日常の言動で気付いたことは、業務日誌や支援経過等に記録し随時情報共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族からこれまでの生活歴、生活環境をお聞きし情報収集している。なじみの方や、ご近所の方の面会を声掛けし、いつでも会えてお話しできるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々に出来る事は教えて頂き興味を持って頂ける様支援している。身体面の変化にも気遣いを持ち、随時バイタルチェックを行い異常に早く気付けるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、御家族、介護者、計画担当者、管理者を含め担当者会議を開き、利用者の意向を確認、把握するよう努めている。担当者会議で決まったことはユニット会議に於いて職員の共有を行っている。	アセスメントとモニタリングから、利用者の状況を把握し、利用者や家族の意向に加え、医師や看護師等医療関係者からの意見も交えた介護計画を立てている。また、状態の変化に伴い介護計画を見直すなど、状態に即した介護計画を作成し関係者に交付している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に個人台帳を持ち、支援記録を作成している。日々の個人に対するケアは記録に残し、日勤者から夜勤者へ申し送りを行い、引継に漏れが無いように確認し、ケアに行かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人のニーズに合わせサービスが提供できるように器具機材を準備し、援助内容、方法も柔軟に対応できるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣に時期折々の花を愛でる環境があり又、美術館、歴史資料館、催し場等、本人が望まれる演芸や絵画鑑賞、施設見学も行い生活に楽しみを持って頂いている。春は桜・夏はソーメン流し等利用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意向を重視しかかりつけ医を受診している。かかりつけ医の無い方、希望者にはホームの協力医と連携を取り利用して頂いている。専門疾患は情報提供を行い専門医の受診を行っている。	眼科や整形外科等の専門医の受診には、家族と職員が協力し合い個別に対応するほか、母体医療機関による往診や看護師による訪問もあり安心につながっている。受診の内容については、必ず家族に報告するとともに、職員間でも申し送り時等に情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の院長が理事長であることから医療との連携は非常にうまくいっている。2～3日に1度医療連携病院から看護師が訪問し健康チェックを行っている。月2回は主治医の往診も出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は家族の負担軽減と利用者様の様子伺いを兼ね洗濯物取り、必要品の補充に、遅出職員が病院に顔をだし入院中の不安軽減に努めている。担当看護師より状態の聞き取りを行い支援記録に落としている。ご家族にも状態報告が出来ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向を確認し、看取り介護に関する説明・同意書をだしている。又健康状態の急変時は主治医から家族へ説明し、看取りの同意書を得ている。	契約時に「医療連携体制加算に係る手順」を説明し、状態が悪化した場合等に「終末期医療行為に関する説明と同意書」を取り交わしている。また、運営推進会議での説明や、本人の状態や家族の思いの変化に合わせて繰り返し説明するなどこまめに確認し対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員に普通救命講習を受講させ、定期的にホームで緊急対応を学習している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、夜間・昼間の防火、消火訓練を行い他事業所とも連携を取り防災訓練を行っている。災害への意識を高める為災害時対策の対応、他消防職員との質疑応答を行っている。</p>	<p>年2回、母体医療機関と連携を図りながら災害訓練を実施している。訓練後に、避難経路の確認や非常扉の作動状況について確認し合うなど最善策についての意見交換がなされている。備蓄については、米や飲料水、ジュース、レトルト食品等を備え、カセットコンロや懐中電灯等の備品も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーを大事に対応している。職員の接遇マナーのレベルアップに向けてユニット会議で話し合っている。排泄チェック表や個人の記録物は目につかないように配慮している。	プライバシーや接遇に関する研修会を実施し、職員に広く周知してもらえよう日頃から意識して対応している。また、職員の言動等で気付いたことがあれば、その都度話し合い、再発防止を図っている。ポータブルトイレやトイレ誘導の声かけに関しても配慮を怠らないよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日利用者様の居室を訪ね声掛けを行い、意思確認と意思の疎通を図りながら利用者が自己決定できる環境づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日のスケジュール通りではなく利用者がそれぞれ、入浴、食事等も余裕を持って好きな時間に利用できるようにしている。家族の訪問があった時は家族と過ごす時間を大切に配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は本人の好みに合うものを着て頂いている。職員は気温・季節のアドバイス程度にとどめ無理強いはしないようにしている。理・美容は適時に聞き取り希望がある時は職員で対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好・アレルギー制限・咀嚼の程度に合わせた食事の提供をしている。食事時は利用者同士がコミュニケーションを取りやすいように配慮し、席を決めている職員も席に着き介助を行いながら楽しい雰囲気です。食事が出来る様に努めている	普段の食事は、母体医療機関で調理したものを食べるため、職員はお弁当を持参しているが、おせち料理などの行事食や屋外レク時の外食などは、利用者と職員が会話を楽しみながら同じものを食べている。また、食べたい物のリクエストに応えたり、個々に合わせた食事形態に配慮し提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事摂取量・補水量を毎日記録し、状態観察を行っている。食欲低下、補水減少は高齢者には危険を及ぼすので早急に主治医へ連絡し指示を仰いでいる。OS1や栄養補助食品の準備も出来ている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、就床前に口腔ケアを行って頂き、残存機能を最大限に活用している。適時に職員が確認を行っている。毎金曜日に訪問歯科受診を受け、口腔内のケア・指導を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツは希望者のみとしている。一人一人の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行なっている。職員サイドに合わせた援助にならないように指導を行っている。	排泄チェック表を参考にしながら、定時あるいは様子を見てトイレに誘導しており、介護度が重くても座位を保つことができればトイレでの排泄を支援している。声かけのタイミングや普段から気持ちが落ち着くことで、トイレでの排泄が可能になった事例も確認できた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	全職員で認知症高齢者に及ぼす【便秘】の影響を学習、理解している。食事・水分補給、運動を取り入れ便秘にならないよう予防に努めている。医療機関とも話し合いながら排泄を促すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人一人の入浴希望に沿えるようにしている。毎日入浴、隔日入浴、週2～3回入浴して頂ける様にしている。利用者様の希望を聞きながら行っている。	個々の入浴の希望に応じられるよう支援しており、入浴拒否がみられる場合は、声をかける職員を変えたり、声かけのタイミングを見計らい誘導している。また、足浴やシャワー浴にも応じ、入浴後の水分補給にも気を配り対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	精神的な安定に努め、安らいで眠れるように配慮している。日中お日様にあたる、外気に触れ自律神経のバランス回復やストレス解消が出来る環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は職員が御薬説明書を見ながら準備し、服薬時、服薬後の空袋を2人で確認しており名前入り、日付入りで説明書と照らし合わせ残薬数を教え間違いが無いかの確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎食後の家事手伝いや、洗濯物たたみと、出来る事を手伝って頂いている。機能訓練も、必要な訓練を個々に合わせ行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣にある施設や、公園に出かけ季節に合った花見や外出援助を行っている。個人対応も希望を聞き入れ職員、家族と食事や買い物見物に出かけている。随時で、ご家族の依頼があれば外出して頂いている。	気分転換や交流を兼ね、月1回はなるべく全員で外出する日を設けており、初詣や花見、ソーメン流し等に出かけている。また、水族館や物産館に行きたいリクエストにも快く対応し、車椅子やリフト車を準備したり、職員を多めに配置するなど安全に配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本預り金は0円である。必要な物品は担当職員が購入伺いを管理者へ提出、管理者が事務へ購入伺書を提出、事務担当者が購入という形をとっている。明細と、領収書を添えて家族に送封し、Kネットで引き落とししている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を所持している方もおられ、ホームの電話も自由に会話できるようになっている。外部からの電話も職員が介助を行い、本人が話せる状況を提供している。手紙等も、書かれたものを職員が投函している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有部分は清潔に保ち、整理整頓され誰もが自由に使える様にしている。時々席替えを行い利用者どうしのコミュニケーションが取れる様に、また顔なじみになり親しみを持って頂ける様に配慮している。</p>	<p>室温は利用者の体への影響を考慮し、27度以下にならないよう設定しており、エアコンのフィルター掃除をこまめに行うなど日頃から空調に気を配っている。リビングや廊下には利用者と職員が作った季節の作品が飾られ、明るい雰囲気を感じられる。トイレや手すり、床掃除は専用の消毒液を使用するなど感染症予防に努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>皆が集まる場所ではそれぞれに、折り紙、塗り絵、職員が図書館より借りてきた図書の本を読まれたり、此処に楽しみながらゆったりした時間をすごして頂ける様にしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自宅で過ごされていた時の雰囲気を出し落ち着いた生活が送れるように支援している。食器や家具は使い慣れたものを持参して頂き使用して頂いている。	エアコンとベッドが備え付けられ、エアコンは担当職員が、室内清掃は早出勤務者が行っている。居心地良く過ごせるよう各居室には、これまで自宅で使っていた馴染みの品を自由に持ち込んでもらっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様一人一人が、出来ること、好きな事が異なることから本人の意思確認を行い出来る事、好きな事を楽しみながら行って頂いている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない